

5月11日

れ い
礼

は い
拝

ま ね
招きの言葉
こ と ば

かい かい の
開会の祈り

し ゆ い の 主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが
願わくは

み な
御名をあがめさせたまえ

つづ
(続 く)

みくに き
御国を来たらせたまえ

みこころ てん
御心の天になるごとく

ち
地にもなさせたまえ

つづ
(続く)

われ にちよう かに
我らの日用の糧を

きよう あた
今日も与えたまえ

つつ
(続く)

われ つみ おか もの
我らに罪を犯す者を

われ ゆる
我らが赦すごとく

われ つみ ゆる
我らの罪をも赦したまえ

つづ
(続く)

われ ころ あ
我らを試みに遭わせず

あく すぐ いだ
悪より救い出したまえ

つづ
(続 く)

くに ちから さか
国と力と栄えとは

かぎ なんじ
限りなく汝のものなればなり

アーメン

つ み こ く は く
罪の告白の

か ん こ く
勧告

^{つ み}罪^{こ く は く}の告白^{き と う}の祈祷

^{ばん ぶ つ}万物^{つく}の造^{ぬ し}り主、

^{ひと}すべての人の

^{さ ば}裁^{ぬ し}き主^{か み}であられる神よ。^{つづ}(続 く)

わたし

私たちは、あなたの

せい

いまし

したが

聖なる戒めに従わず、

うしな

ひつじ

失われた羊のように

み まえ

まよ

い

御前から迷い出で、

（つづ
続く）

おも こと ば おこな
思いと言葉と行いにおいて

つみ おか み いか
罪を犯し、あなたの御怒りを

まね
招いたことを

ふか かな
深く悲しんでおります。 つづ
(続 く)

あわ 憐れみに^と富んでおられる^{ちち}父よ。

おか つみ にく かな わたし
犯した罪を憎み悲しむ私たちに

あわ 憐れみを^{そそ}注いでください。 (^{つづ} 続く)

^{しゅ}
主イエス・キリストにおいて

^{わたし} 私 ^{ゆる} たちを赦し、^み ^{たま} 御霊によって、

^う 生まれ ^か 変わらせ、

^み ^な 御名 ^さ ^か の栄えのために

^い 生きる ^{もの} 者とならせてください。(^{つづ} 続 く)

^{しゅ}主イエス・キリストの^み御^な名に

よって^{いの}お祈りいたします。

アーメン

つ み ゆ る
罪の赦しの

せ ん げ ん
宣言

し へん か
詩編歌72

4. の す もの ひざ
野に住める者みな 膝をかがめ、
おう てき ちり
王の敵はすべて 塵をなめよ。
うみ ち みつ も
海をへだつ地より 貢ぎ持ちて
き おう み まえ ふ
来たる王たちみな 御前に伏す。

5. げに、悩む者らと 苦しむ者、

弱き者、憐れみ 救う王ぞ。

不義をなす者より 虐げより、

魂を贖い 救う王ぞ。 (2/3)

ねが 6. 願わくはわが王 おう い なが 生き永らえ、

よ ひと しゆくふく う 世の人の 祝 福 受けんことを。

こ がね ささ いの 黄金、捧げもちて 祈りまつる。

くに こくもつ ゆた 国のうち穀物 豊かなれと。

(おわり)

ぼ っ か い き と う
牧会祈禱

こども^こも^せ説^つ教^{きよう}

ち^ちの^{しお}塩^よ、世^よの^{ひかり}光^{ひかり}」

マタイ福音書5:13～16

マタイ福音書5^{しょう}章

13 「あなたがたは地の塩である」。

14 「あなたがたは世の光である」。

イエスさまごめんなさい

1. イエスさまごめんなさい

わたしの^{つみ}罪のため

^{じゅう}十^じ字^か架^しで死んでくださって

^{かみ}
2. 神さまありがとう

^{かみ}
わたしを神さまの

^こ
子どもにしてくださって

^{あか}
3. 明るくかがやこう

^{よ ぞら ほし}
夜空の星のように

^{かみ こ}
神さまの子どもだから

(おわり)

し と しんじょう
使徒信条

われ てん ち つく ぬし
我は天地の造り主、
ぜん の う ちち かみ しん
全能の父なる神を信ず。

われ ひと ご
我はその独り子、

われ しゅ しん
我らの主イエス・キリストを信ず。

しゅ せいれい やど
主は聖霊によりて宿り、

う
おとめマリヤより生まれ、

くる う
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

じゅう じ か し ほうむ
十字架につけられ、死にて葬られ、

よ み くだ
陰府に下り、

みつ か め し にん
三日目に死人のうちよりよみがえり、

てん のぼ
天に昇り、

ぜんのう ちち かみ みぎ ざ
全能の父なる神の右に座したまえり。

き い もの
かしこより来たりて生ける者と

し もの
死ねる者とをさばきたまわん。

われ せいれい しん
我は聖霊を信ず。

せい こうどう きょうかい
聖なる公同の教会、
せい と まじ つみ ゆる
聖徒の交わり、罪の赦し、
からだのよみがえり、
いのち しん
とこしえの命を信ず。

アーメン。

(おわり)

マルコ福音書6章

30 さて、使徒たちはイエスのところに

あつ 集まって来て、自分たちが行ったことや

おし 教えたことを残らず報告した。

31 イエスは、「さあ、あなたがただけで

^{ひとざとはな}人里^{ところ}離れた^い所へ行って、しばらく^{やす}休むが

^いよい」と言われた。出入りする^{でい}人^{ひと}が多くて、^{おお}

^{しょくじ}食事を^{ひま}する暇もなかったからである。

32 そこで、^{いちどう}一同は^{ふね}舟に^の乗って、

じぶん ひとざとはな ところ い
自分たちだけで人里離れた所へ行った。

33 ところが、^{おお}多くの人々は^{かれ}彼らが

^で出かけて行くのを見て、それと^き気づき、

すべての^{まち}町からそこへ^{いつせい}一斉に^か駆けつけ、

^{かれ}彼らより^{さき}先に^つ着いた。

34 イエスは^{ふね}舟から^あ上がり、^{おおぜい}大勢の

^{ぐんしゅう}群衆を^み見て、^か飼い主の^{ぬし}いない^{ひつじ}羊の

^{ありさま}ような有様を^{ふか}深く^{あわ}憐れみ、いろいろと

^{おし}教え^{はじ}始められた。³⁵ そのうち、^{とき}時も

だいぶたったので、^で弟子^したちが

イエスのそばに^き来て^い言った。

「ここは人^{ひと}里^{さと}離れた^{ところ}所^じで、時間^{かん}も

だいぶたちました。³⁶ 人^{ひと}々^{びと}を解^{かい}

さん^{さん}散^{さん}させてください。そうすれば、

自分^じで周^{ぶん}りの^{まわ}里^{さと}や村^{むら}へ、

なに た もの か い
何か食べる物を買いに行くでしょう。」

37 これに^{たい}対してイエスは、

「あなたがたが^{かれ}彼らに^た食^{もの}べ物を
^{あた}与えなさい」とお^{こた}答えになった。

^で弟子^したちは、「わたしたちが

に ひやく
二 百 デナリオンもののパンを買って来て、

みんなに食^たべさせるのですか」と

言^いった。³⁸ イエスは言^いわれた。

「パンは幾^{いく}つあるのか。見^みて来^きなさい。」

で し 弟子^{たし}たちは確^きかめて来^きて、言^いった。

「^{いっ}五つあります。それに^{さかな}魚^{に ひき}が二匹です。」

39 ^{で し}そこで、イエスは弟子たちに、^{みな}皆を

^{くみ わ}組に分けて、^{あおくさ}青草^{う え すわ}の上に座らせるように

^{めい}お命じになった。^{ひとびと}40 人々は、^{ひやくにん}百人、

^{ご じゆうにん}五十人ずつまとまって^{こし お}腰を下ろした。

41 イエスは五つのパンと二匹の魚を

とてんあおさんびいのとな
取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、

パンを裂いて、弟子たちに渡しては

くばにひきさかなみなぶんぱい
配らせ、二匹の魚も皆に分配された。

42 すべての人が食べて満腹した。

43 そして、パンの屑くずと魚さかなの残りのこを

あつ集めると、十じゅう二にの籠かごにいっぱいにな

った。44 パンを食たべた人ひとは男おとこが

ごせんにな
五千人であつた。

45 それからすぐ、イエスはで弟子したちを

し ふね の む ぎし
強いて舟に乗せ、向こう岸のベトサイダへ

さき い あいだ ご じ ぶん
先に行かせ、その間に御自分は

ぐんしゅう かいさん
群衆を解散させられた。

ぐんしゅう わか
46 群衆と別れてから、

いの やま い
祈るために山へ行かれた。 (おわり)

10. わが^{た た}たま称えよ

1. 我^わが^{た た}たま称えよ 主^{しゅ}なる神^{かみ}を

内^{うち}なるすべては み^みな^なを^{あが}崇む

2. わがたま^{おぼ}覚えよ ^{あた}与えられし

たえなる^{めぐ}恵みは ^{しゅ}主のものなり

われ つみ ゆる
3. 我らの罪とが すべて赦し

くる なや い
苦しみ悩みを 癒やしたもう

いのち
4. くつべき 命 を しゅ あがな
主は 贖 い

やさ み て ささ
優しき 御手もて 支えたもう

5. ^{み たま}御^{そそ}霊を注ぎて ^{わし}驚のごとく

^{いのち}命 ^{ちから}と力 に ^み満たしたもう

アーメン

せつ
説

きょう
教

じゅう じ か けつ い
「イエスが十字架を決意するとき」

たていししょうぞういんたいきょう し
立石章三引退教師

515. ^{じゅう じ か}十字架^ちの血に

1. ^{じゅう じ か}十字架^ちの血に きよめぬれば

^こ来よ」との^{み こえ}御声^{われ}を 我はきけり

^{しゅ}主よ、^{われ}我は ^{いま}今ぞゆく

^{じゅう じ か}十字架^ちの血にて きよめたまえ 1/4

よわ われ み ちから え
2. 弱き我も 御 力 を得

み けが ぬぐ
この身の汚れを みな拭われん

しゅ われ いま
主よ、我は 今ぞゆく

じゅう じ か ち
十 字 架 の 血 に て きよめたまえ

3. ^{ま ごころ}真心もて ^{いの}せつに祈る

^{こころ}心にみつるは ^{しゅ み めぐ}主の御恵み

^{しゅ われ}主よ、我は ^{いま}今ぞゆく

^{じゅう じ か}十字架の ^ち血にて きよめたまえ

4. ほむべきかな ^わ我が^{しゅ}主^{あい}の愛

ああほむべきかな ^わ我が^{しゅ}主^{あい}の愛

^{しゅ}主よ、^{われ}我は ^{いま}今ぞゆく

^{じゅう}十^じ字^か架^ちの血にて きよめたまえ

アーメン

けん
献

きん
金

※中会回転基金日献金（2回まわし）

かんしゃ ささ もの
感謝の献げ物

にん い きようせい
任意であり、強制ではありません

ほう
報

こく
告

本日の予定

- ・グループ別祈祷会（礼拝後）
- ・夕拝（休会）

今週の予定

- 祈りと学びの会（祈祷会）午前・夜
5月14日(水)
- 会堂掃除 第3週担当者

次主日の予定

- 礼 拝 am10:30～

司式・説教：辻幸宏牧師

奏楽：辻三枝子姉

「天に上げられる主イエス」 使徒1:6～11

- 教会学校（礼拝後）

- 夕 拝 pm5:00～

541. ^{しょう}頌 ^{えい}栄

^{ちち}父、^{みこ}御子、みたまの

おおみかみに、

ときわにたえせず、

みさかえあれ、みさかえあれ

アーメン

しゅく
祝

ふく
福

ア-メンさんしょう
三唱